

発表内容

- 1. プロジェクトの概要
- 2. 今年度の活動
- 3. 活動の成果と課題
- 4. 今後の展開









ビーチプロジェクトとは

高校生が主体となり、住民に対して駅前 ビーチの造成を通じて「海」への関心を 高めてもらえる取り組みを展開し、

暮らしの中に海の存在を取り戻していく

2018/3/17

高校生発信で 人と海をつなげるプロジェクト

今までの活動

2015年

6月 砂入れ体験

9月 べじまつりへ参加

2016年

3月 基本構想策定に向けた ワークショップ

8月・10月

アクアソーシャルフェスへ参加





2. 今年度の活動内容

1)プロジェクトメンバーが海について学ぶ活動

11

2) 市民が海に親しむための活動

2018/3/17

1)プロジェクトメンバーが海について学ぶ活動



2017年6月 駅前ビーチの清掃活動

2017年8月 駅前ビーチの工事現場見学



2) 市民が海に親しむための活動

- ①子どもの水遊び体験の実施
- ②ラブマップ制作

2018/3/17

①子供の水遊び体験の実施





②ラブマップ制作

ラブマップとは

海というロマンチックな素材を活かして、 青森駅前のウォーターフロントおよび 中心商店街全体を、

若者が集うデートスポットとして提案する。

2018/3/17

中心商店街の強み

- ・ロマンチックなウォーターフロント
- ・魅力的なお店



ロマンチックで、 特別な体験ができるデートを! 2018/3/17

ウォーターフロントと中心商店街 X 若者カップル

9 2018/3/17

若者をターゲットにすることで、

- ①通学や勉強で青森駅前を利用する高校 生たちが、中心商店街に足を伸ばしてく れるようになる
- ②SNSからの情報発信によって、より多くの 人に中心商店街のことを知ってもらうこと ができる

若者が使いやすく、楽しんでもらえるマップのために

①使い勝手がいいように紙媒体ではなく、 ウェブ媒体から配信する



21

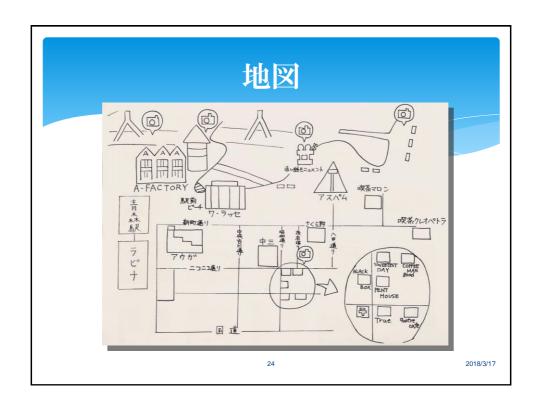
若者が使いやすく、楽しんでもらえるマップのために

②明確な基準のもとにお店やスポットを選ぶ

- ・予算1000円程度で楽しめるお店
- ・大手飲食チェーン店や商業施設にはない魅力があるお店
- ・カップルがゆっくり過ごすことができるお店やスポット (勉強できる場所、お店など)
- •SNS映えするスポット

22









ワークショップでラブマップを体験





27 2018/3/17

アンケート結果

- ・大人でおしゃれなお店があって行ってみたいと思った
- ・勉強スポットがたくさんあって便利
- ・かわいい、おしゃれなお店があって写真を撮りたくなる

3 2018/3/17

ラブマップを通じて、

- ・ロマンチックで特別な体験ができる
- ・中心商店街を身近な存在として感じてもらえる

29 2018/3/17

3. 活動成果と課題

成果

- 自分たち自身が駅前ビーチを通じて、 海への理解を深めることができた。
- ・市民に海の魅力を伝える活動ができた。
- ・ラブマップというオリジナルの企画を立案し制作することができた。

2018/3/17

課題

- ①市民が海と関わる機会を定期的に行う
- ②引き継ぎをしつかり行う



①市民が海と関わる機会を定期的に行う

- ・定期的に商店街の方々や市民の皆さんと一緒に清掃活動を行う
- ・水遊び体験のような子ども向けの企画をもっと増やす

②引き継ぎをしっかり行う

- 1)新しいメンバーへの引き継ぎ
- 2) ラブマップ制作のスケジュール

(2018年夏に配信開始予定)

- ・お店の取材
- ・関係各所からの許可取り
- ・マップデータの制作
- ・ラブマップの広報活動

2018/3/17

最後に

私たちと一緒に、 地域をより活性化させていきましょう! よろしくお願いします!